



機械設備工事特記仕様書

- 1 工事名称 本庁舎内空調機・熱源機更新工事
2 工事場所 龜山市本丸町 地内
3 建築概要 RC造 3階建
4 施工基準 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による
(1) 提出図書
(2) 機器及び材料等
(3) 出来形管理
(4) 品質管理
(5) 出来形管理
(6) 製品確認
(7) 耐震安全性の分類
(8) 機器の地震力 (主要機器)

- (9) 発生材の処理等
(10) 電気保安技術者
(11) 施行条件
(12) 概成工期
(13) 仮設工事
(14) 三重県産業廃棄物税
(15) 事故の発生時
(16) 既設との取合い・養生
(17) 県内企業優先使用
(18) 不当介入を受けた場合の措置
(19) 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間

- 6. 共通事項
1) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にする。
2) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、PS内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行う。
3) 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理を行う。
4) 工事に使用する機械、車両等については、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。
5) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す。
6) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮する。
7) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用する。
8) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
9) 工事に使用する機械、車両等については、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。
7. 工事種目
(1) 空調機器設備工事 (2) 空調配管設備工事
(3) ダクト設備工事 (4) 給水設備工事
(5) 油設備工事
8. 工事概要
(1) 空調機器設備工事
(2) 空調配管設備工事
(3) ダクト設備工事
(4) 給水設備工事
(5) 油設備工事

Table with 2 columns: 記号 (Symbol) and 種別 (Type). It lists various piping symbols such as CD for cooling water pipe, CDR for return cooling water pipe, CH for hot water pipe, CHR for return hot water pipe, and symbols for drainage pipes, oil pipes, and valves.

Project information form including revision history (改訂日, 改訂記号, 改訂内容), design details (設計・監理, 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568), contractor information (管理建築士, 承認, 設計, 製図), project name (本庁舎内空調機・熱源機更新工事), drawing title (図面名: 機械設備工事特記仕様書 1), date (2013), and drawing scale (縮尺).

9. 工事細目 (1) 配管材料

Table with 2 columns: Material Type (給水管, 冷温水配管, ドレン管, 冷却水管, 冷媒管, 油管) and Specifications (JWWA K116, JIS G 3452, etc.).

※ 弁類 横水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は 10kgf/cm<sup>2</sup> とし、それ以外は、5kgf/cm<sup>2</sup> とする。

塩化ビニリング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又は、ライニング管を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔

Table showing support intervals for pipes (鋼管, ビニル管, 鉛管, 鋼鉄管) based on diameter and weight.

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

Table showing support intervals for pipe-shaped steel brackets (鋼管, ビニル管) based on diameter.

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m 以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m 以下

※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。

形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

Table for duct work specifications (短形ダクト, 形鋼補強, 丸ダクト) listing materials like 亜鉛鉄板, SUS鋼材, and conditions.

(3) 保温塗装工事

1) 材料

Table listing insulation materials (グラスウール, ロックウール, ポリスチレンフォーム) and associated pipe types (給水管, 汚水管, 冷温水管).

2) 配管保温厚

Table showing insulation thickness (mm) for glass wool (グラスウール) for various pipe diameters (20, 25, 30, 40, 50 mm).

Table showing insulation thickness (mm) for rock wool (ロックウール) for various pipe diameters (20, 25, 30, 40, 50 mm).

・ポリスチレンフォーム (屋外露出または多湿箇所)

Table showing insulation thickness (mm) for polystyrene foam for various pipe diameters.

・機器ダクト保温厚

Table showing insulation thickness (mm) for ductwork (25mm, 50mm, 75mm) for different equipment types.

給水・排水・ドレン・給湯・温水・蒸気管保温仕様

Table showing insulation specifications for various types of pipes (屋内露出, 機械室, 天井内, etc.) across four categories.

※ 1) 排水管については、上表床下・暗渠ピット内の仕様を防食テープ巻きに読み替える。

※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリプテン管使用の場合は、上表保温不要。

※ 3) 消火管の保温は寒冷地（北勢・伊賀地区）屋外露出部分のみ施工のこと。

冷水・冷温水・冷媒・膨脹管保温仕様

Table showing insulation specifications for cold water, chilled water, refrigerant, and expansion pipes across five categories.

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上
■ SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

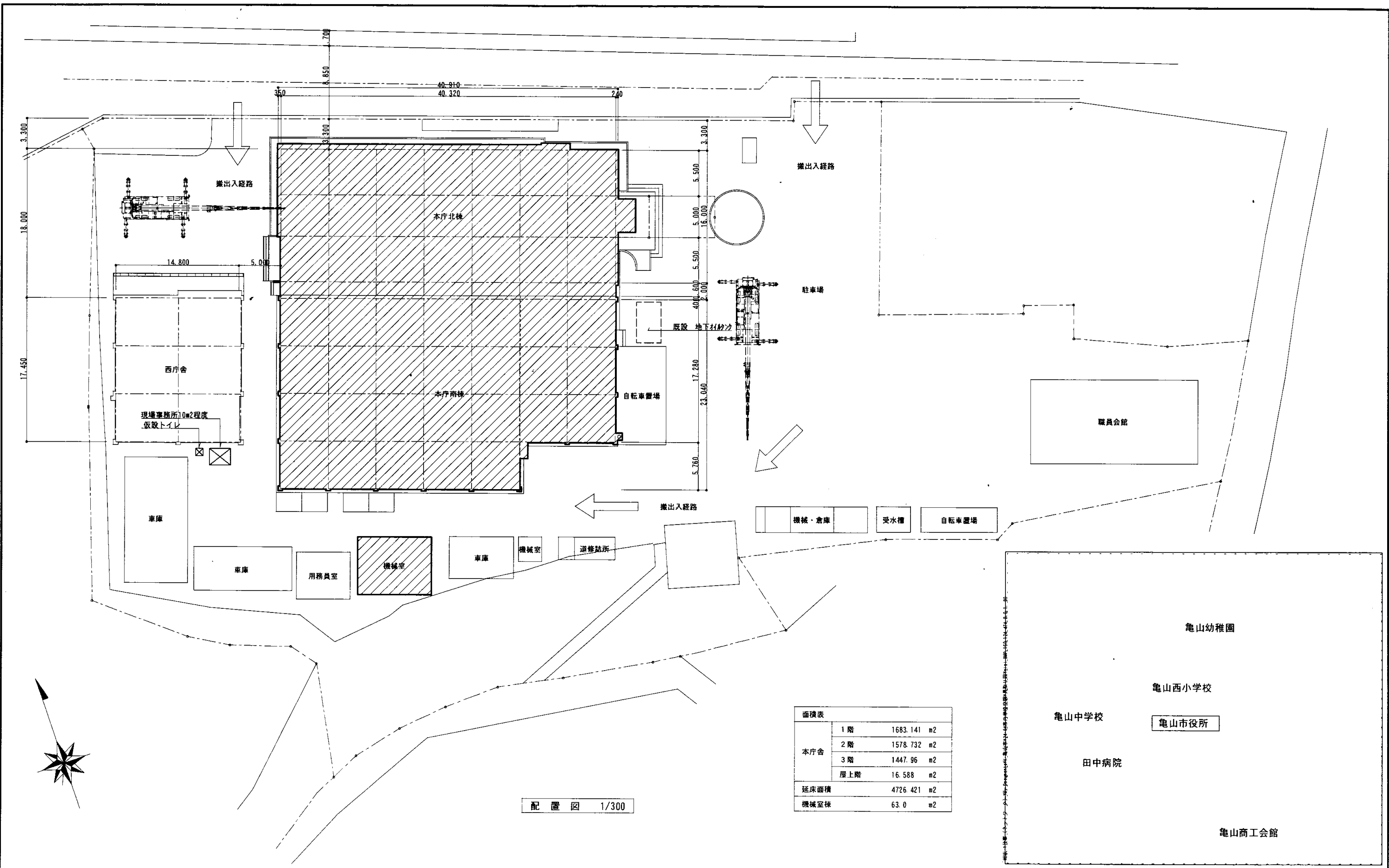
ダクト・チャンバー・煙導保温仕様

Table showing insulation specifications for ducts, chambers, and smoke ducts across four categories and different pipe types (屋外露出, 屋内露出, etc.).

10. 指定資材及び参考見積りメーカー

Table listing specified materials and reference manufacturers (分類, 資材名, 規格・メーカー等).

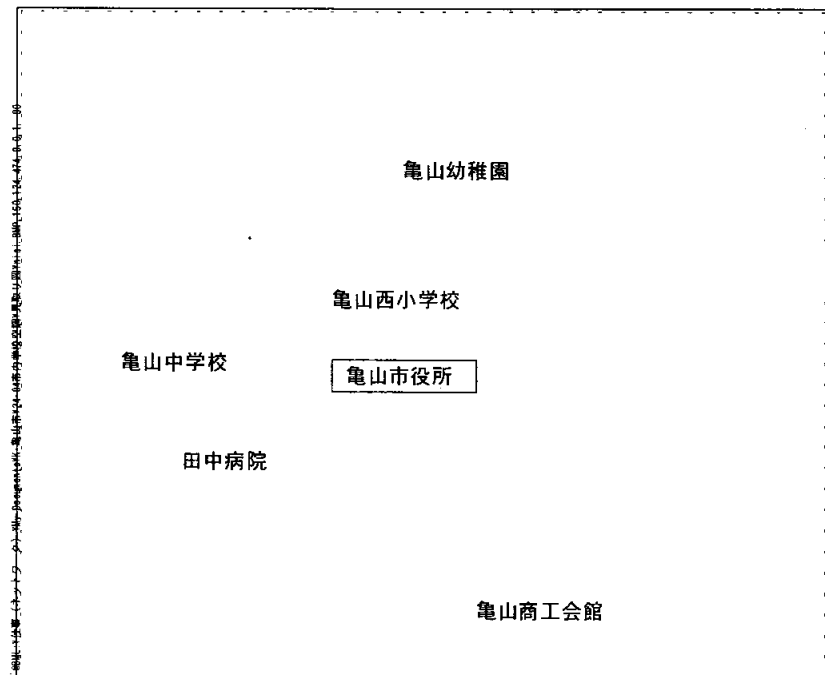
【注記】 ① JISマーク、水マーク (JWWA: 日本水道協会規格)、WSP (日本水道協会規格)、SHASE-S (空気調和・衛生工学会規格)、JPF (日本金庫手協会の規格)...



配置図 1/300

面積表		
本庁舎	1階	1683.141 m <sup>2</sup>
	2階	1578.732 m <sup>2</sup>
	3階	1447.96 m <sup>2</sup>
	屋上階	16.588 m <sup>2</sup>
延床面積		4726.421 m <sup>2</sup>
機械室棟		63.0 m <sup>2</sup>

付近見取図



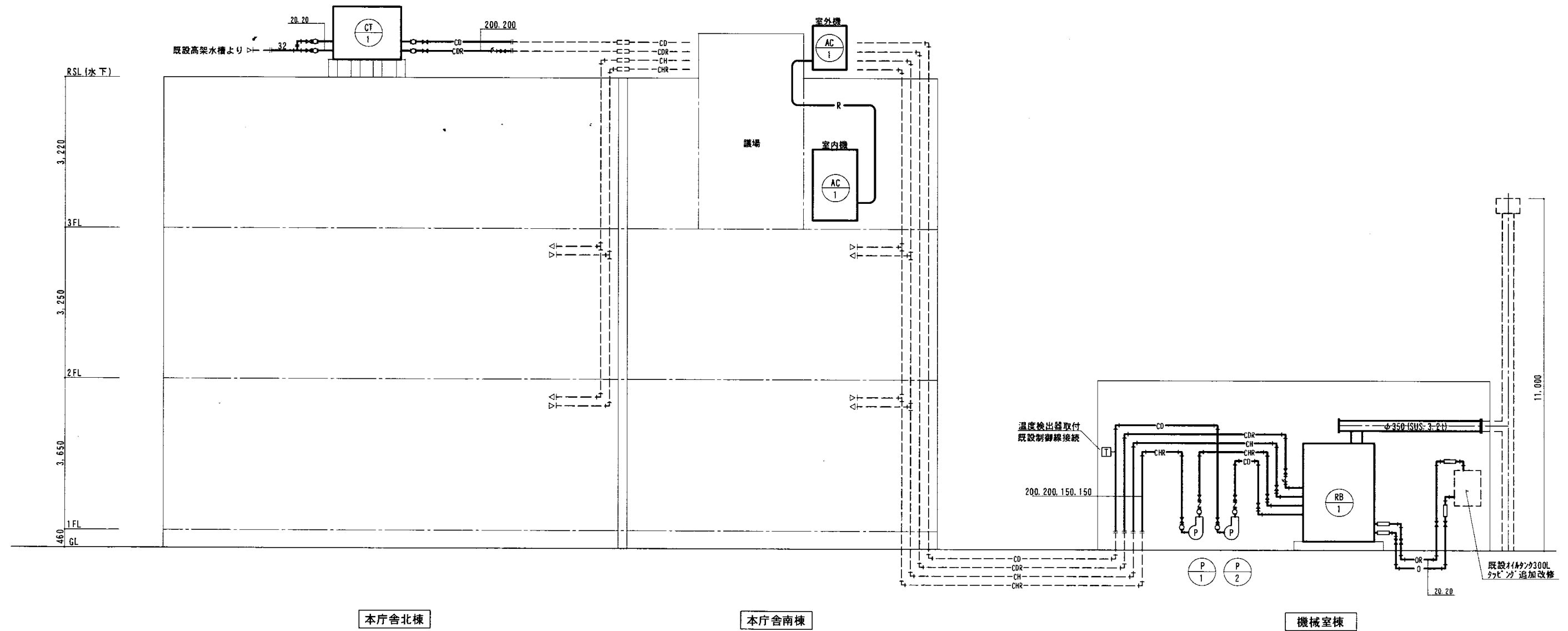
改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士	承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013	No. M-3
				<b>マツダ設計</b>						年月日	
				514-0064 三重県津市長岡町800-50 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大田登録 254600 松田 恭一				図面名	1/300	縮尺
									配置図 付近見取図		

機器仕様 (新設)					
記号	名称	数量	仕様	電気容量	備考
				電源	
RB-1	吸収冷温水機	1基	形式 : 屋内型 冷房時COP1.2以上 JIS基準 冷房能力: 563kW (160RT) 圧力損失: 88kPa 冷水量: 1613L/min (12.0℃→7.0℃) 暖房能力: 471kW 圧力損失: 88kPa 温水量: 1613L/min (55.8℃→60.0℃) 圧力損失: 88kPa 冷却水量: 266L/min (32.0℃→37.3℃) 圧力損失: 88kPa 燃料消費量(灯油): 47.9L/h (冷房最大) 52.3L/h (暖房最大) 灯油焚き 燃焼制御: PDI+ON-OFF制御 耐震: 1.0G 【特記仕様】 センサー本体組込み 公共工事標準仕様 防振ネット	3φ/200V/60Hz 12.8kVA (参考)	コンクリート基礎(現場打) 既設換気機器とのインターロック 製造工場内にて外観・寸法検査を行う 設置場所: 屋外機械室内
CT-1	冷却塔	1基	形式: 二重効用吸収式冷温水発生機低騒音型 冷却能力: 160RT 冷却水量: 2700L/min (37.3℃→32.0℃) 外気温湿球温度27℃WB 耐震レベル1.5G 垂釣メッキ仕様 自動ブロー装置(電動ボール弁・配線とも) 防振架台 ※架台は既設基礎アンカーに合わせて作製すること。	3φ/200V/60Hz 5.5kW以下	既設基礎利用(防水補修) 設置場所: 屋上
P-1	冷温水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 2P 100A×80A×1.613L/min×64.3mH メーカー付属品: 圧力計、連成計 防振架台 公共工事標準仕様	3φ 200V 30kW	既設基礎利用(ケレン補修) 設置場所: 屋外機械室内
P-2	冷却水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 2P 100A×80A.700L/min×21mH メーカー付属品: 圧力計、連成計 防振架台 公共工事標準仕様	3φ 200V 15kW	既設基礎利用(ケレン補修) 設置場所: 屋外機械室内
AC-1	空冷式V캐지エアコン	1	設備用床置形 インバーター 冷房能力: 71.0kW 暖房能力: 80.0kW 室内機風量: 200m3/min 431pa 室内送風機: 5.5kW 加湿器: 13kg/h (水スプレー等) 背面吸込口(標準フィルター) 防振架台 【特記仕様】 公共工事標準仕様 防振架台(室内外) アクティブフィルター リモコン(本体、遠方)2か所 温度検知器 ※77W出力は参考とする。	3φ 200V	既設基礎利用(防水補修) ※架台現場作製 製造工場内にて外観・寸法検査を行う 設置場所: 3階機械室(室内機) 屋上(室外機)

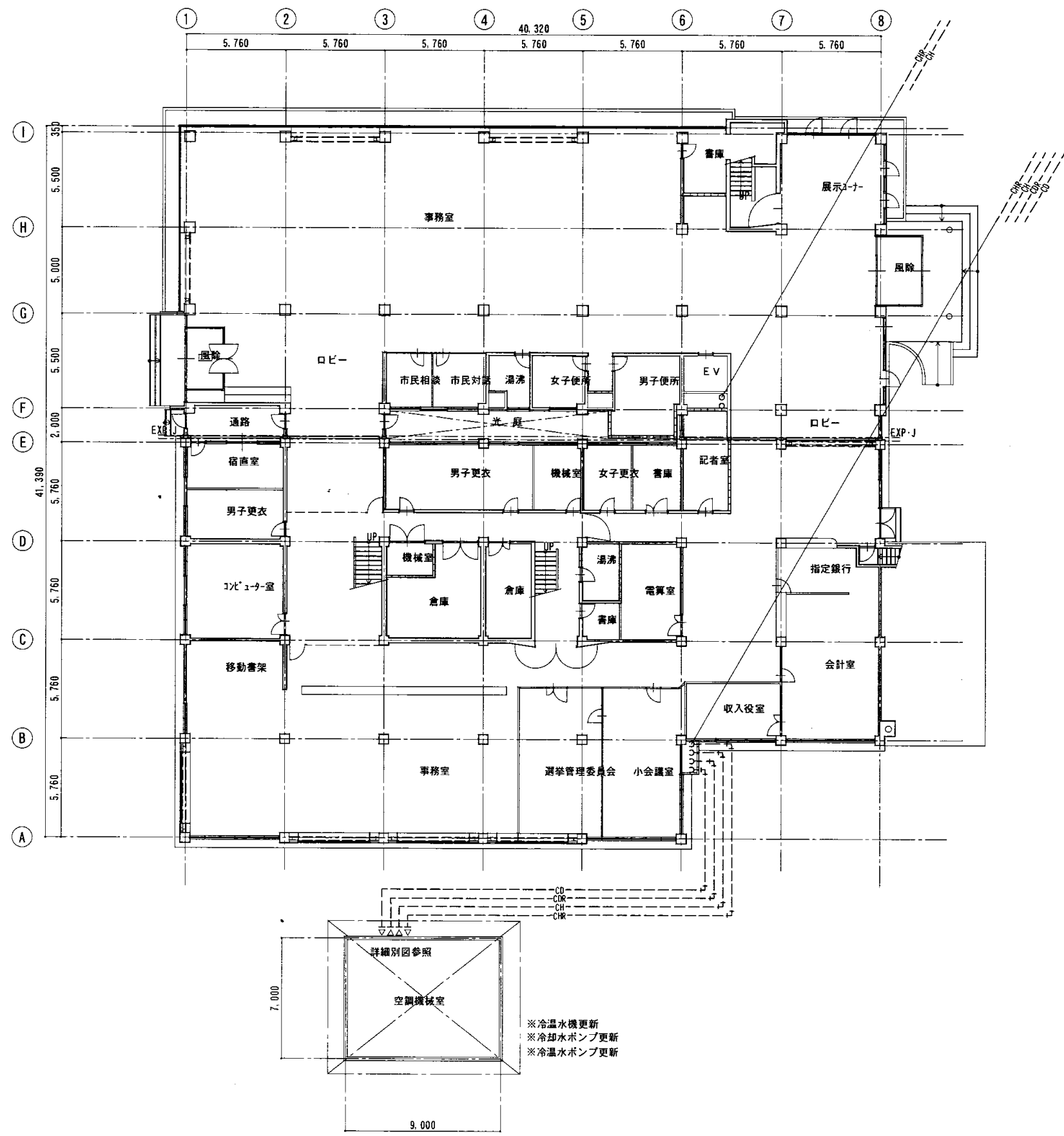
機器仕様 (撤去)					
記号	名称	数量	仕様	電気容量	備考
				電源	
RB-K1	吸収冷温水機	1	二重効用灯油炊 吸収式冷温水発生機 冷房能力: 160RT 暖房能力: 40,500kcal/h 冷却水量: 162m3/h 冷温水流量: 96.8m3/h 燃料消費量(灯油): 44.9L/h (冷房最大) 44.9L/h (暖房最大) ※寸法、重量は参考 搬出重量: 4.6t (二分割) 三菱重工 MOF-16A	3φ 200V 13.3kVA	標準基礎 設置場所: 屋外機械室内
CT-K1	冷却塔	1	超低騒音型 冷却能力: 160RT 外形寸法: 4.230L×2.770W×2.900H 送風機: 5.5kW 空研工業 SKB-160GRGS	3φ 200V	標準基礎 設置場所: 屋上
P-K1	冷温水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 100A×80A×1.610L/min×61mH	3φ 200V 30kW	標準基礎 設置場所: 屋外機械室内
P-K2	冷却水ポンプ	1	片吸込渦巻ポンプ 150A×150A×2.700L/min×21mH	3φ 200V 15kW	標準基礎 設置場所: 屋外機械室内
AC-K1	空冷式V캐지エアコン	1	床置ダクト形 冷房能力: 50800kcal/h 暖房能力: 61100kcal/h 室内機風量: 12000m3/h 44mmAq 室内送風機: 5.5kW フレッド加湿器: 13kg/h 二重防振架台 177kg	3φ 200V	標準基礎 設置場所: 3階機械室(室内機) 屋上(室外機)

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. M-4
				<b>マ ッ ダ 設 計</b>	一級建築士 大田茂樹 264600 松田 恭一	図面名 空調設備 (新設)・(撤去)機器仕様		
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590				

(改修)配管図示記号	
	新設配管
	既設配管
	既設配管・新設配管接続部分

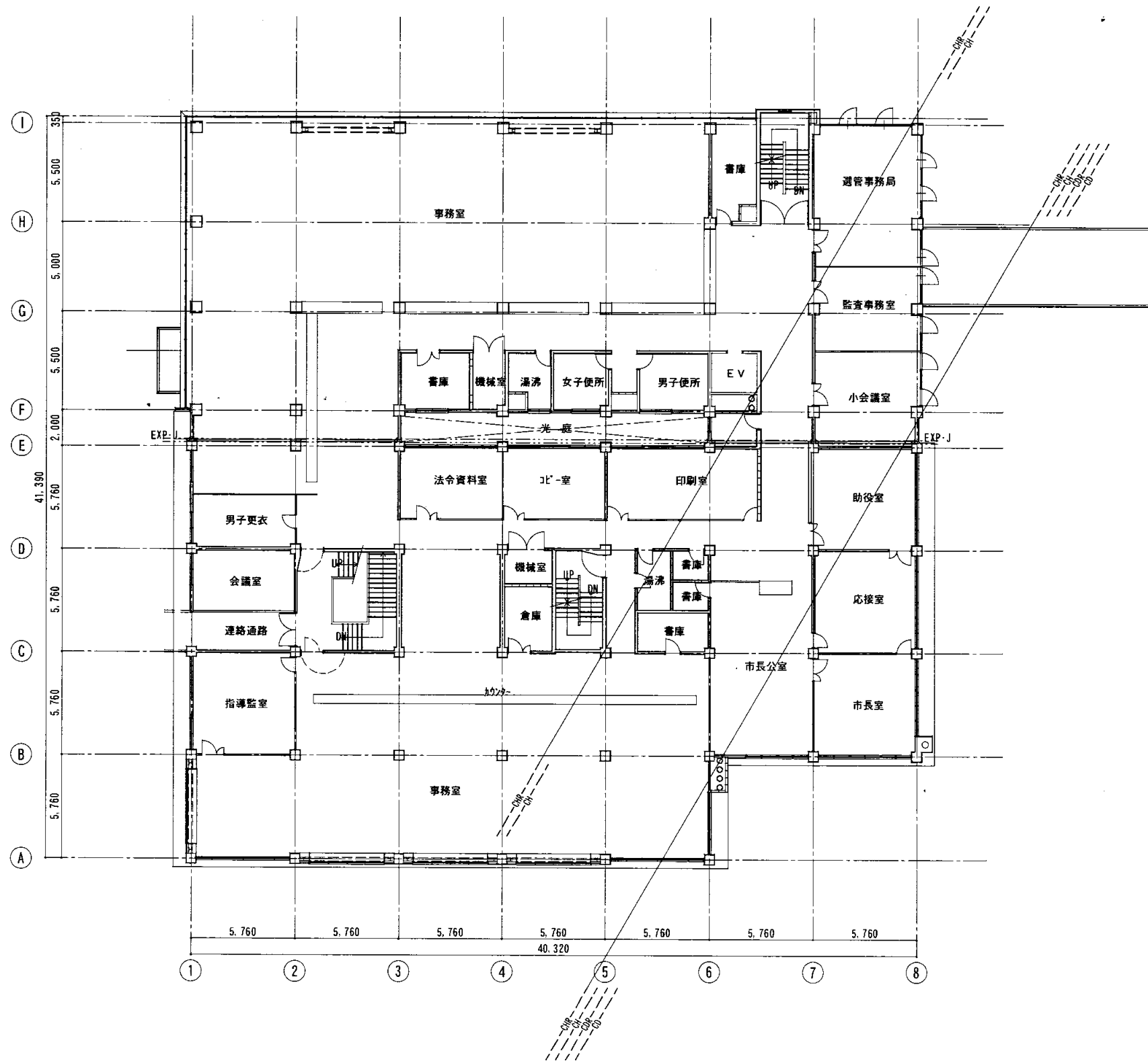


改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. M-5
				<b>マツダ設計</b>	一級建築士 大臣登録 264603 松田 恭一			図面名 空調設備 配管系統図	年月日	
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590					年月日	



1階平面図 S=1/200

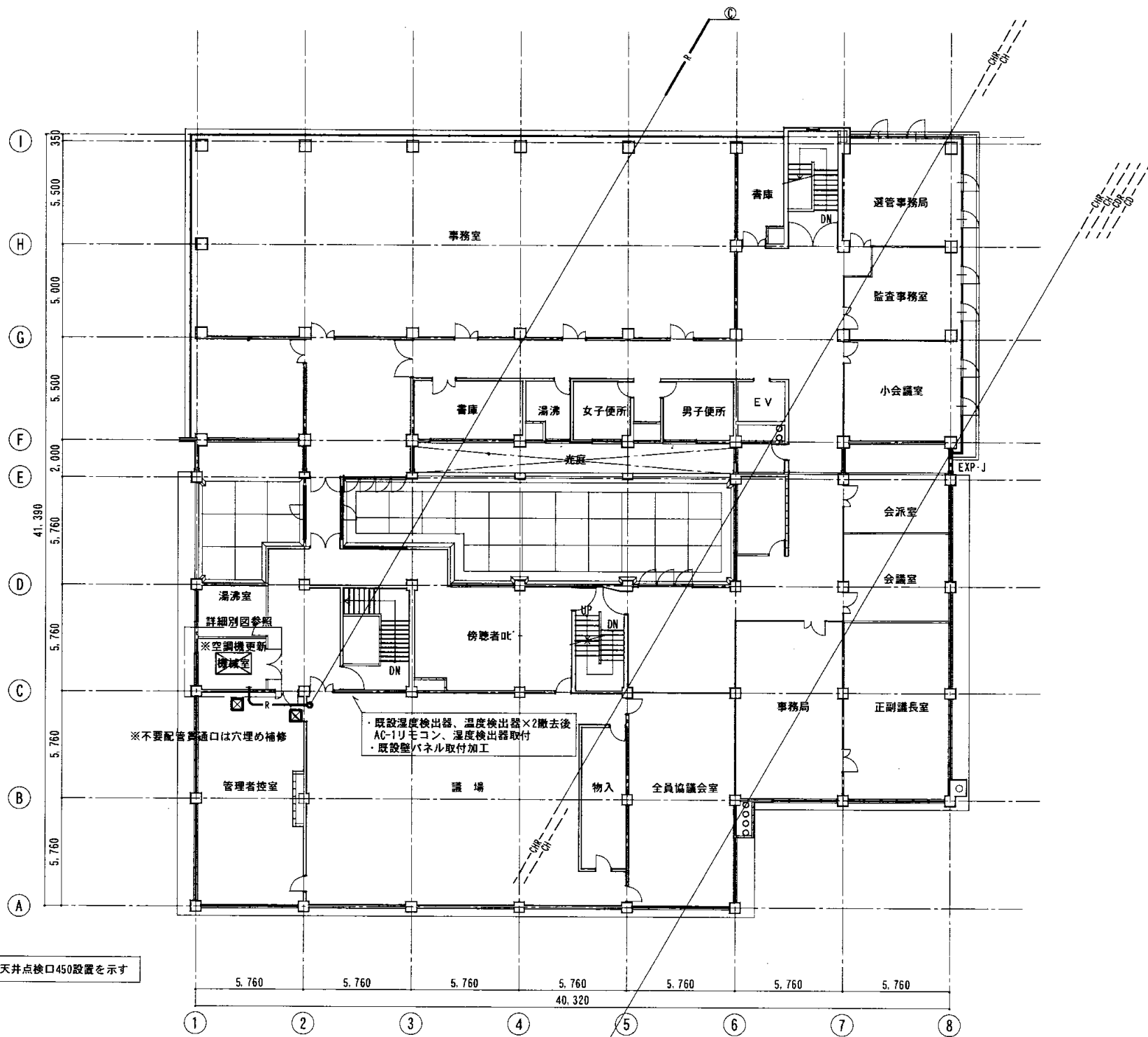
改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013	No. M-6
				<b>マツダ設計</b> 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大臣登録 264609 松田 恭一		年月日	
								図面名 空調設備
						1階平面図	縮尺	



2階平面図 S=1/200

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013	No. M-7
				<b>マツダ設計</b>	一級建築士 大臣登録 22460 松田 恭一		年月日	
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590		図面名 空調設備 2階平面図	1/200	縮尺





図中 ☒ は天井点検口450設置を示す

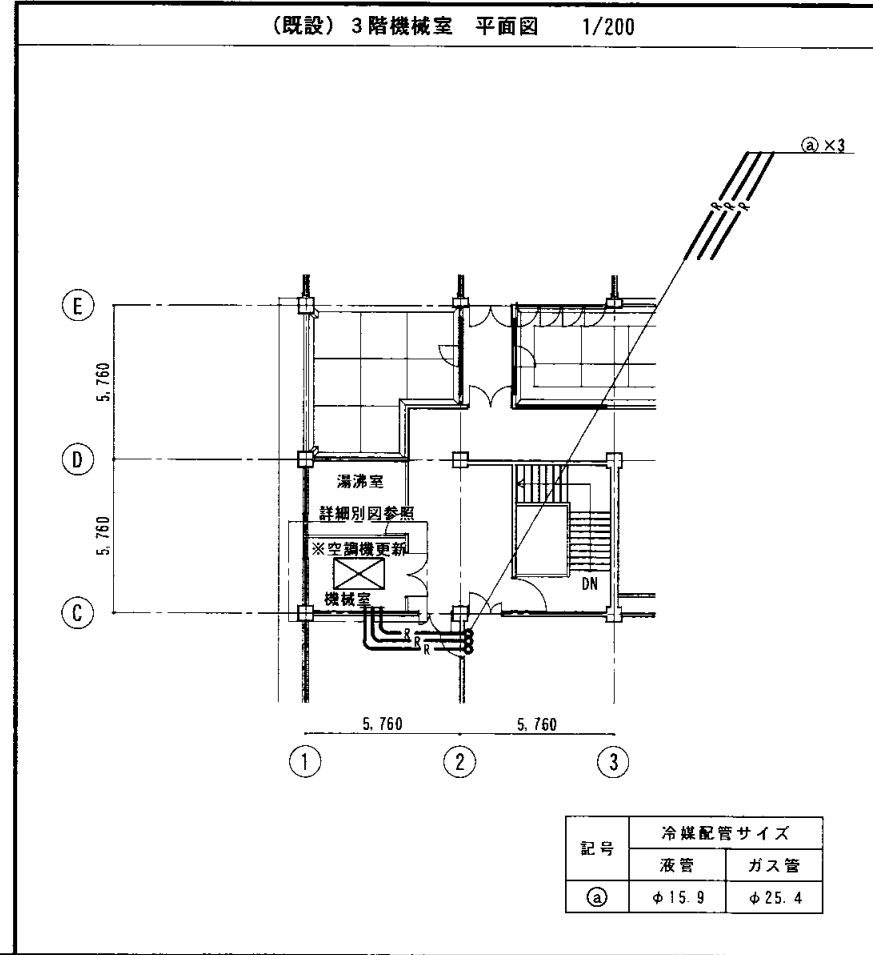
・既設湿度検出器、温度検出器×2撤去後  
AC-1リモコン、湿度検出器取付  
・既設壁パネル取付加工

※不要配管露出は穴埋め補修

5.760 5.760 5.760 5.760 5.760 5.760 5.760  
40.320

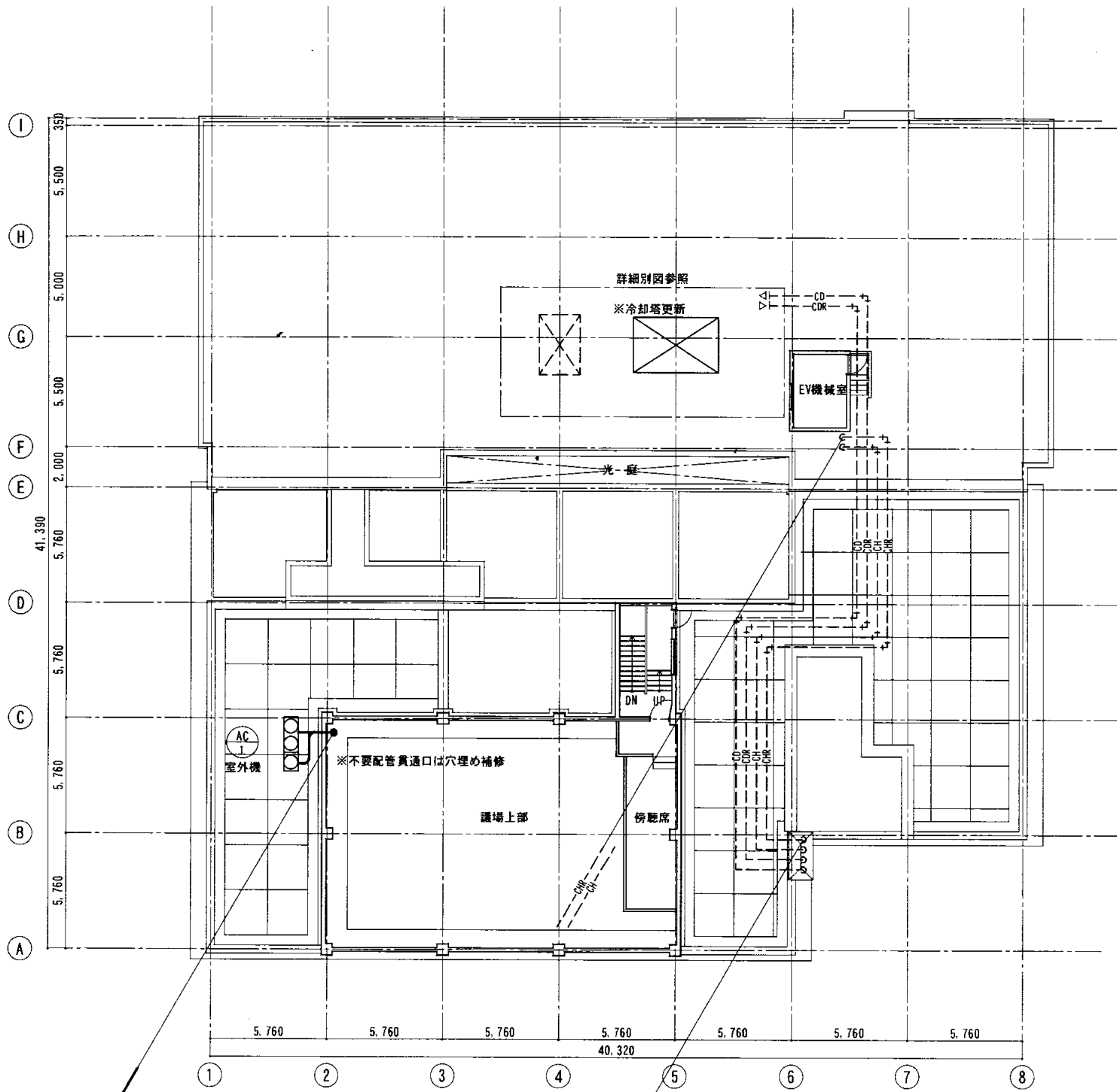
3階平面図 S=1/200

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ12.7	φ25.4
Ⓑ	φ15.9	φ28.6
Ⓒ	φ19.1	φ31.8



記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ15.9	φ25.4

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. M-8
				<b>マツダ設計</b>	一級建築士 大臣登録 234600 松田 恭一			
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 053-228-6590				

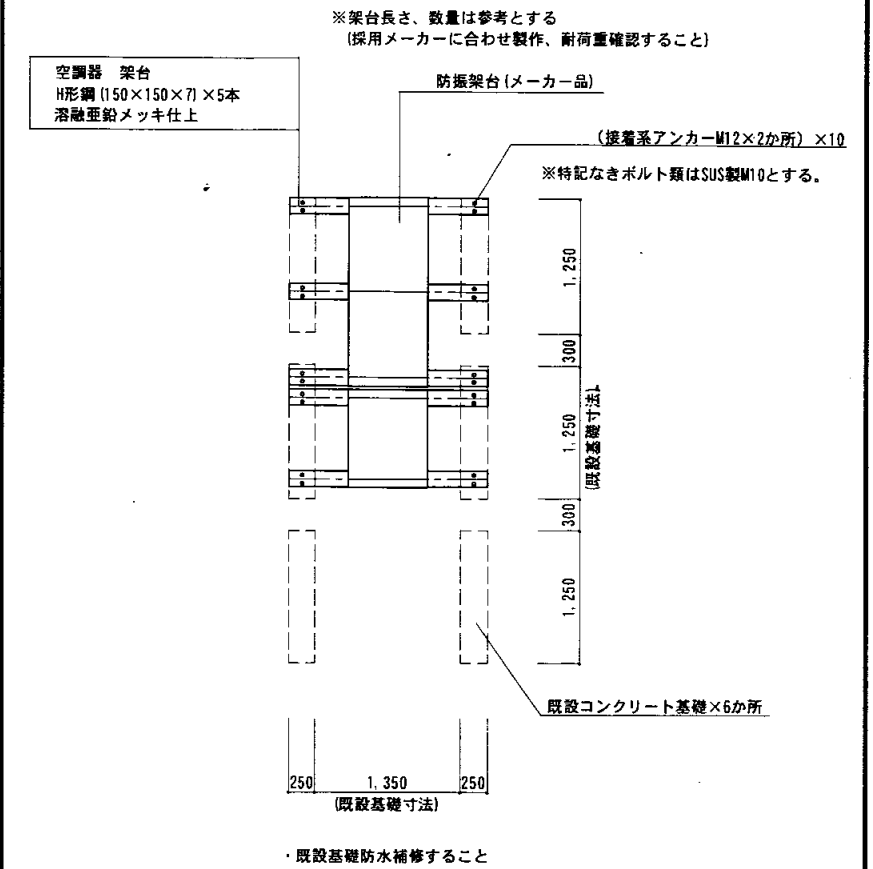


屋上平面図 S=1/200

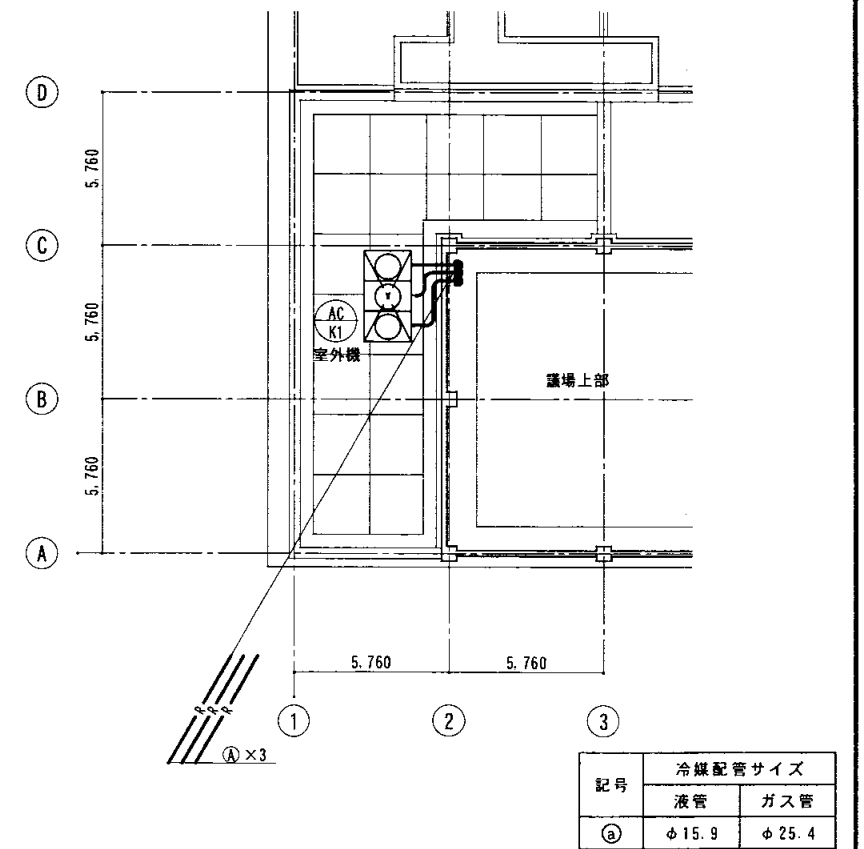
- 改訂工事要領**
1. 空調室外機、周辺配管、付属品の新設をおこなう。
  2. 既設基礎は再利用のため防水補修を施す。

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ12.7	φ25.4
Ⓑ	φ15.9	φ28.6
Ⓒ	φ19.1	φ31.8

室外機基礎架台 詳細図 (参考) 1/50



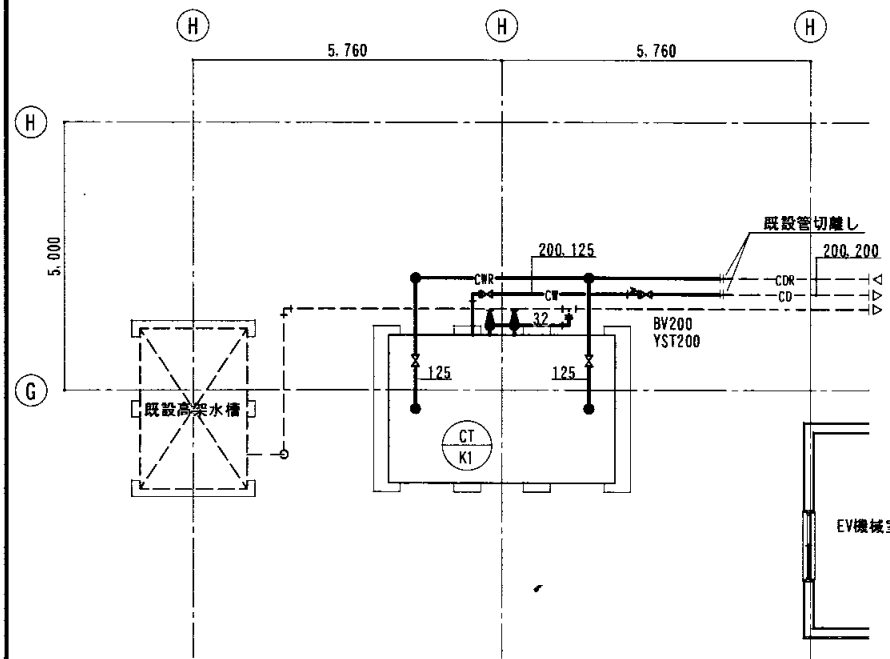
屋上 既設AC-1(室外機)撤去 平面図 1/200



記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ15.9	φ25.4

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013	No. M-9
				<b>マツダ設計</b>			年月日	
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大原豊雄 764620 松田 恭一	図面名 空調設備	1/200	縮尺
						屋上平面図		

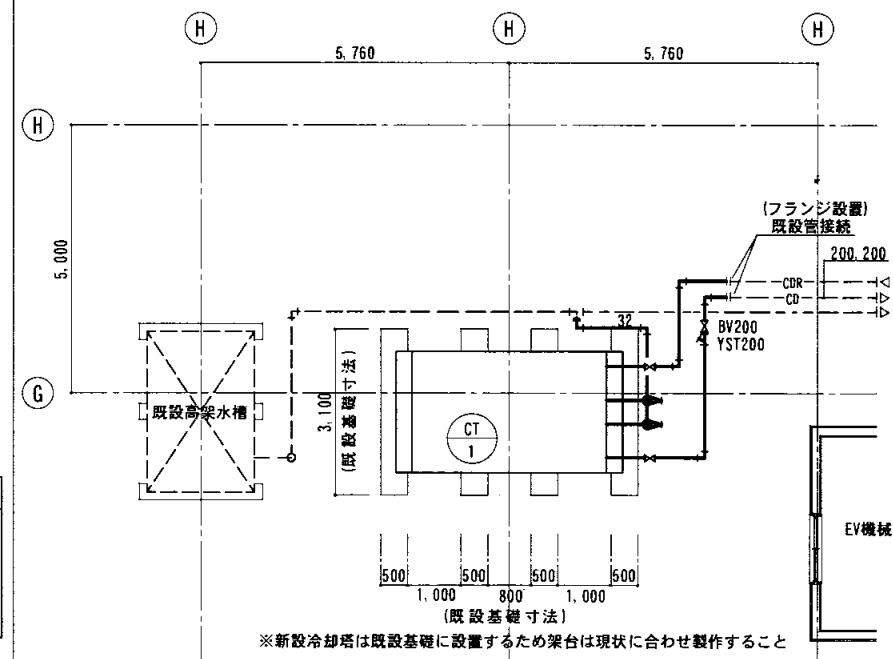
(撤去) 屋上 詳細図 1/100



撤去CT-K1周り配管・付属品	
冷却水管SGP(白)	BV200, BV125×2 不要冷却水管撤去(途中切離し)
補給水管SGP-VA	GV32×2 不要給水管撤去(途中切離し)
排水・イ・n-7p-管SGP(白)	BV80 防虫網(SUS) 不要排水管撤去(途中切離し)

- 撤去工事要領
1. 冷却塔、周辺配管、付属品の撤去処分をおこなう。
  2. 既設基礎は再利用のため機器撤去後補修を施す。
  3. 配管を撤去した後は不要配管であってもP止め処置を施す。
  4. 施工時は防水面、周辺配管、機器に養生を施すこと。

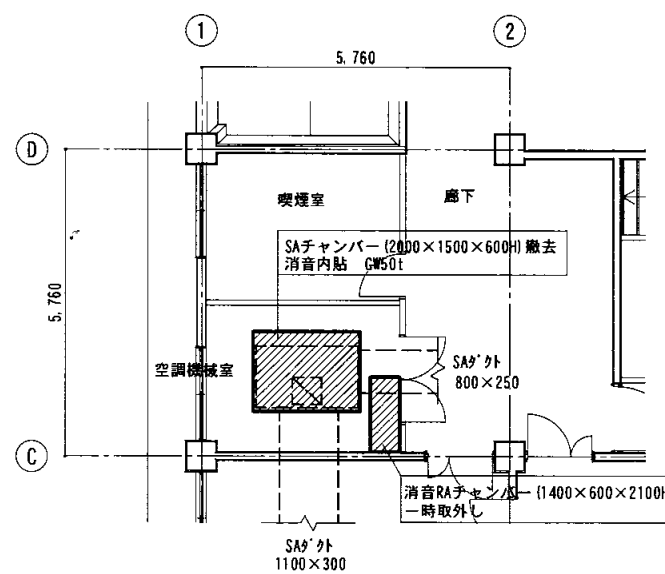
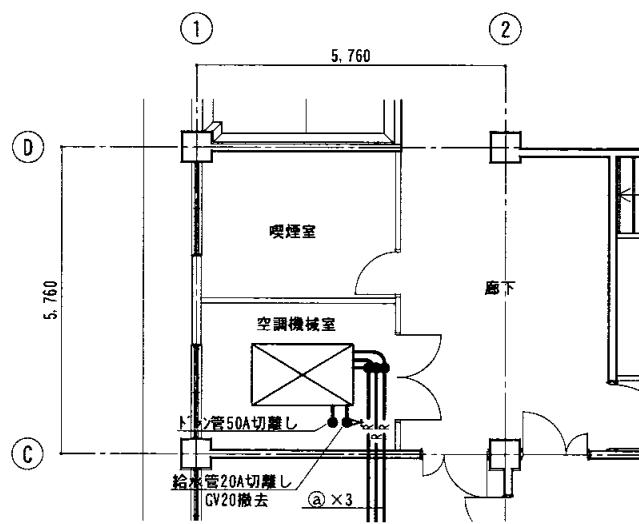
(改設) 屋上 詳細図 1/100



撤去CT-K1周り配管・付属品	
冷却水管SGP(白)	BV150×2 FJ150(合成J'A)×2 既設冷却水管に接続
補給水管SGP-VA	GV20×2 FJ20(合成J'A)×2 既設給水管に接続
排水・イ・n-7p-管SGP(白)	GV50 防虫網(SUS)

- 改設工事要領
1. 冷却塔、周辺配管、付属品の新設をおこなう。
  2. 既設基礎は再利用のため防水補修を施す。
  3. 一部、既設管保温、ラッキングを施す。
  4. 施工終了後、既設周辺機器配管の作動を確認すること。

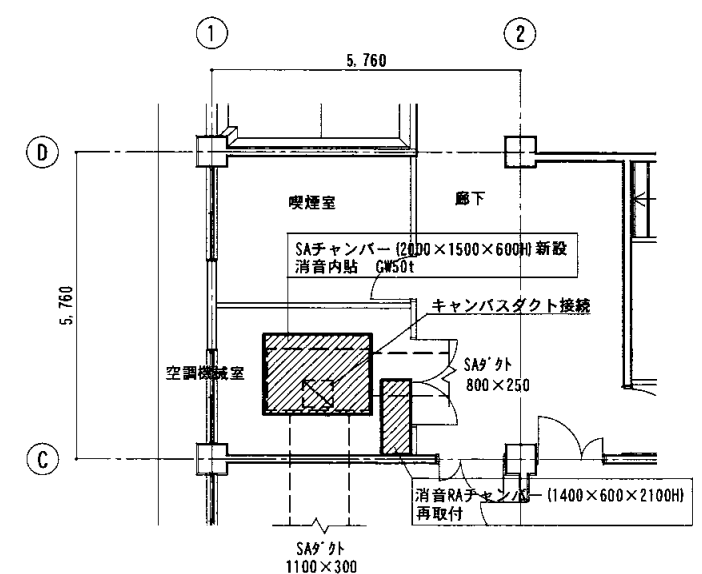
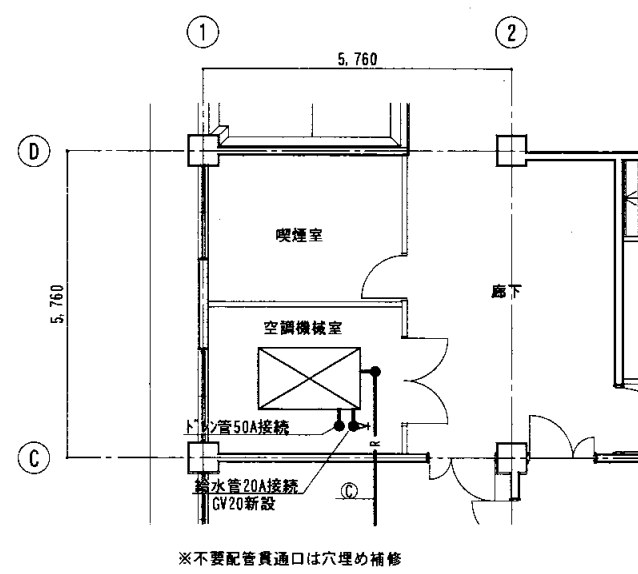
(撤去) 3階空調機室 詳細図 1/100



記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ15.9	φ25.4

- 撤去工事要領
1. 空調機、周辺配管、付属品の撤去処分をおこなう。
  2. 木台撤去あとの床面は必要に応じ補修すること。
  3. 配管を撤去した後は不要配管であってもP止め処置を施す。
  4. 施工時は屋内外床壁天井等仕上面に養生を施すこと。

(改設) 3階空調機室 詳細図 1/100

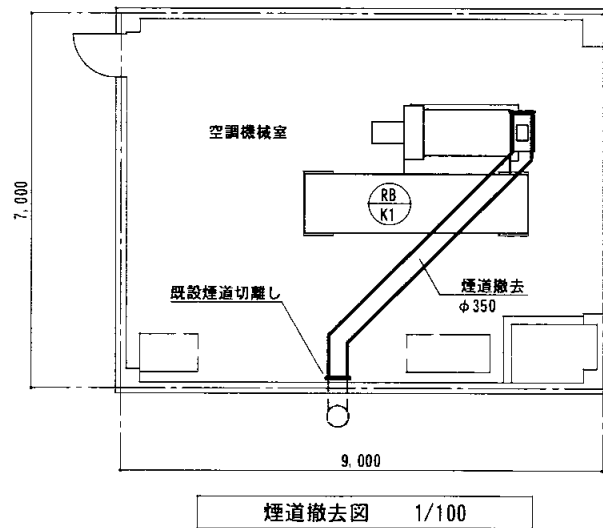
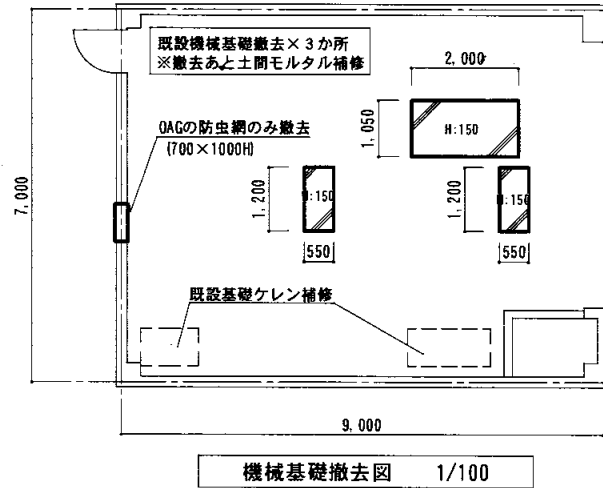
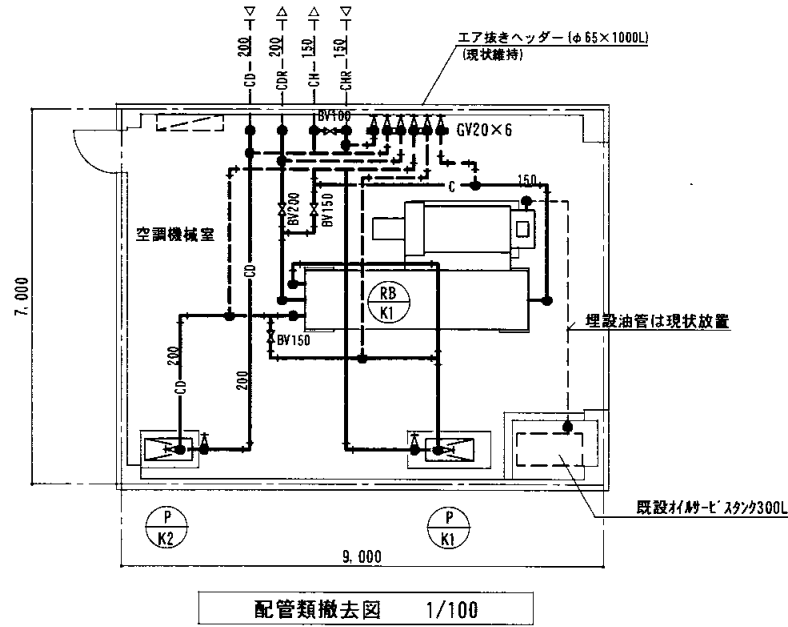


記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
Ⓐ	φ12.7	φ25.4
Ⓑ	φ15.9	φ28.6
Ⓒ	φ19.1	φ31.8

- 撤去工事要領
1. 空調機、周辺配管、付属品の新設をおこなう。
  2. 架台は強固に床躯体に固定すること。
  3. 冷媒管の壁穴補修は必要に応じ防火処理を施すこと。
  4. 施工時は屋内外床壁天井等仕上面に養生を施すこと。

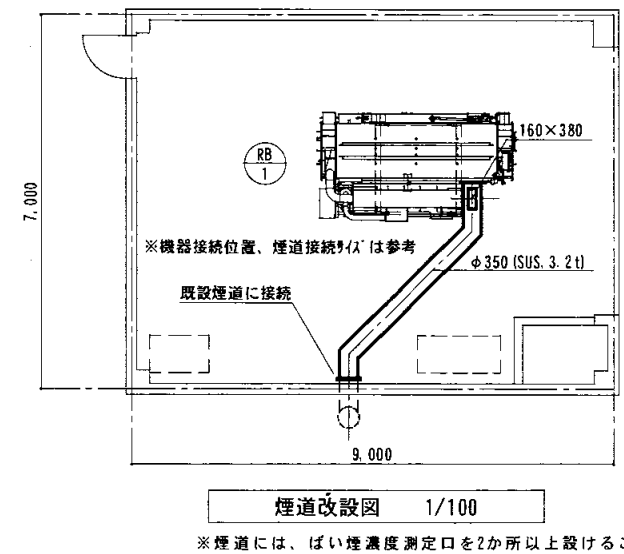
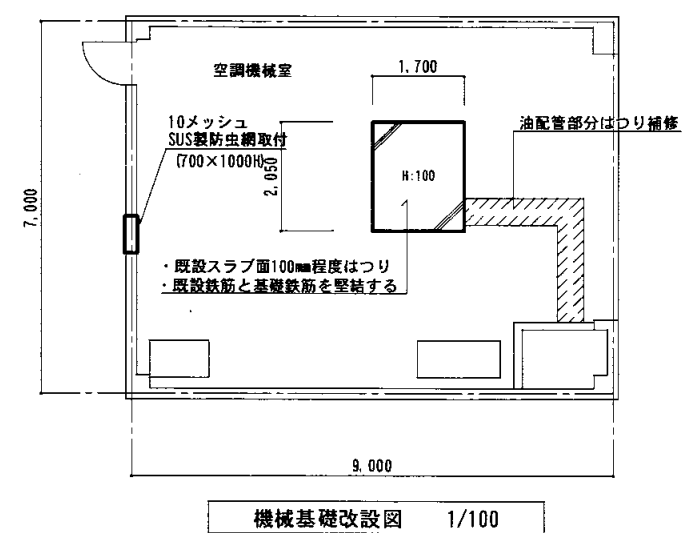
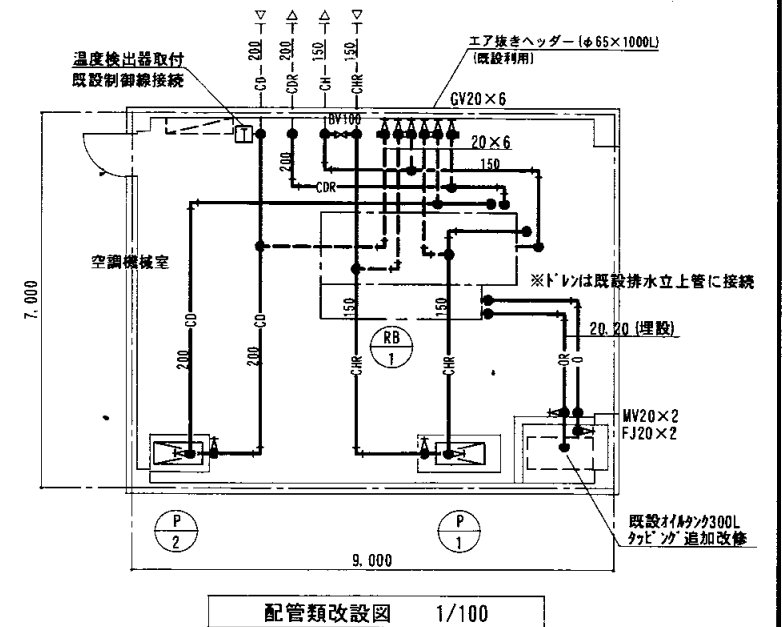
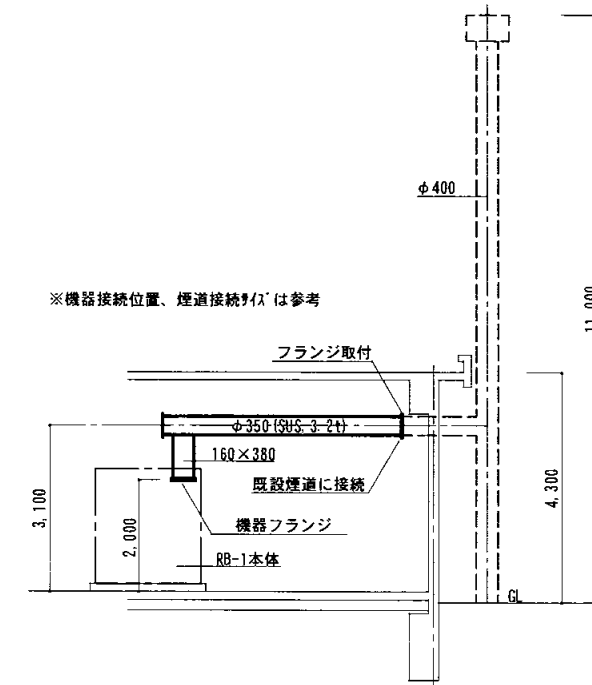
撤去P-K1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	FJ150 (SUS), CV150, BV150×2 不要冷温水配管撤去(機械室内)
撤去P-K2周り配管・付属品	
冷却水管SGP	FJ200 (SUS), CV200, BV200 不要冷却水管配管撤去(機械室内)
撤去RB-K1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	BV150×2 温度計 不要冷温水配管撤去(機械室内)
冷却水管SGP	BV200×2 YST200 温度計 不要冷却水管配管撤去(機械室内)
ドレン・水抜管SGP	25A GV25×4
油管SGP(黒)	20A MV20 不要部分撤去 元管P止め
撤去煙道仕様	
煙道 (SUS製3.2t)	φ350 保温: 岩綿+ランケット+SUSラッキング

- 撤去工事要領**
1. 機械室内、の空調熱源機器・配管の撤去処分をおこなう。
  2. 埋設配管は現状維持とする。
  3. 配管を撤去した後は不要配管であってもP止め処置を施す。
  4. 既設不要基礎は撤去し土間補修を施す。



改設P-1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	FJ100 (3" A) × 2, CV100, BV100 × 2 ドレン配管
改設P-2周り配管・付属品	
冷却水管SGP	FJ100 (3" A) × 2, CV100, BV100 ドレン配管
改設RB-1周り配管・付属品	
冷温水管SGP	BV150×2 YST150 洗浄用タビ'ング 温度計×2 圧力計×2 瞬間流量計
冷却水管SGP	BV200×2 洗浄用タビ'ング 温度計×2 圧力計×2 瞬間流量計
ドレン・水抜管SGP	20A GV20×2 (水抜き) 25A GV25 (排ガスドレン)
油管SGP(黒)	20A MV20×2 FJ20×2
改設煙道仕様	
煙道 (SUS製3.2t)	φ350 保温: 岩綿+ランケット+鋼板ラッキング

- 改設工事要領**
1. 機械室内、の空調熱源機器・配管の新設をおこなう。
  2. 埋設配管は現状維持とする。
  3. 新設基礎は面取りを施し、既設利用部分は補修する。
  4. 既設不要基礎は撤去し土間補修を施す。
  5. 機器廻り計器類は公共工事標準図による
  6. 油配管継手は溶接とする。



※煙道には、ばい煙濃度測定口を2か所以上設けること。

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	No. M-11
				マツダ設計	一級建築士 大田登輝 254500 松田 恭一				

I. 工事名称 本庁舎内空調機・熱源機更新工事

II. 工事場所 亀山市本丸町 地内

III. 建物概要

Table with 5 columns: 建物名称, 構造, 延面積 (m²), 消防令の適用, 備考

IV. 工事仕様 ※内容が機械設備工事特記仕様書と異なる場合は機械設備工事特記仕様書に準ずるものとする。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Includes sections for 1. 施工基準, 2. 一般事項, 提出書類, 施工計画等, 工事使用材料等.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes sections for 完成書類, 完成時の操作説明, 完成確認・完成検査時の電源確保, 特定管理産業廃棄物, 諸手続, 消防提出書類, 既設との取合い・養生, 既設設備の調査, 製品確認, 3. 耐震基準.

V. 工事種目

Table with 3 columns: 工事種目, 屋内, 屋外(屋上). Shows 電気設備 一式.

VI. 工事概要

電気設備工事

(1) 電気設備

- 1. 空調機械室内機器取替に伴う電気設備工事。
2. 空調機械室有圧換気扇の制御変更に伴う電気設備工事。
3. 3階議場空調機取替に伴う電気設備工事。

施工条件

施工可能日 機械設備工事特記仕様書に順ずる。

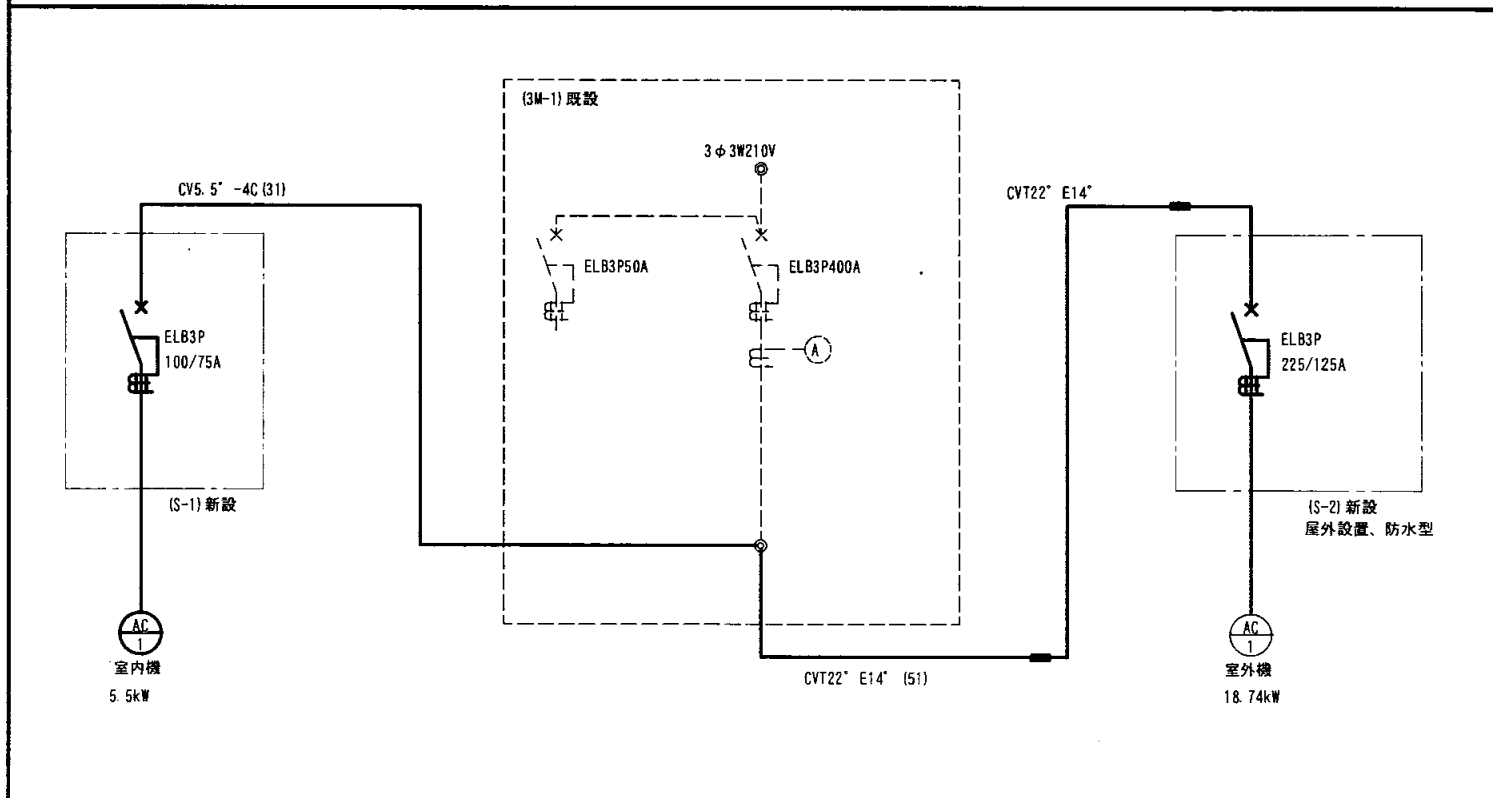
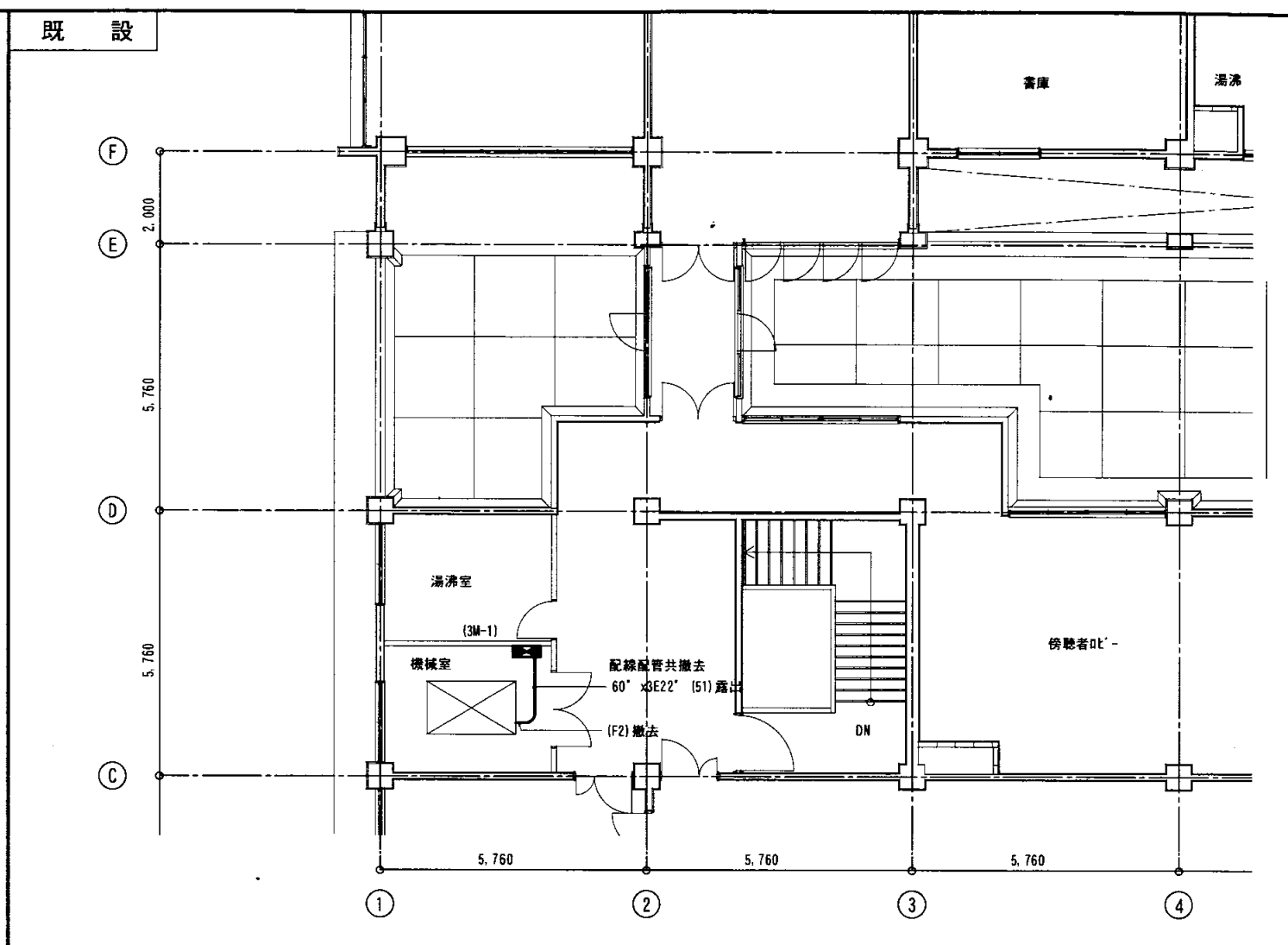
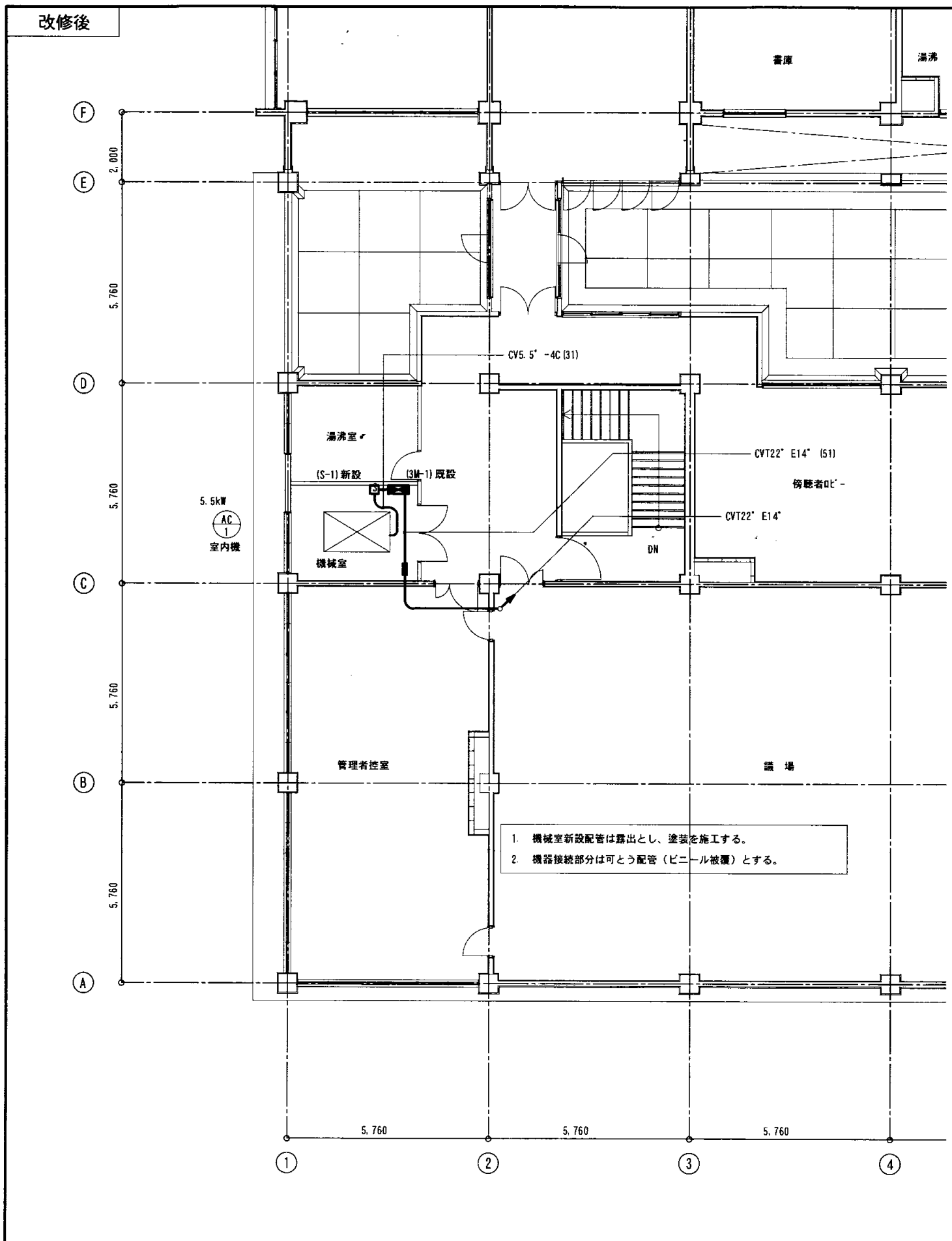
電気設備工事指定資材メーカーリスト

Table with 4 columns: 分類, 資材名, 適用範囲, 規格・メーカー名等 (アイウエオ順). Lists materials like 電線保護物類, 電線・ケーブル付属品, 配線器具, 盤類.

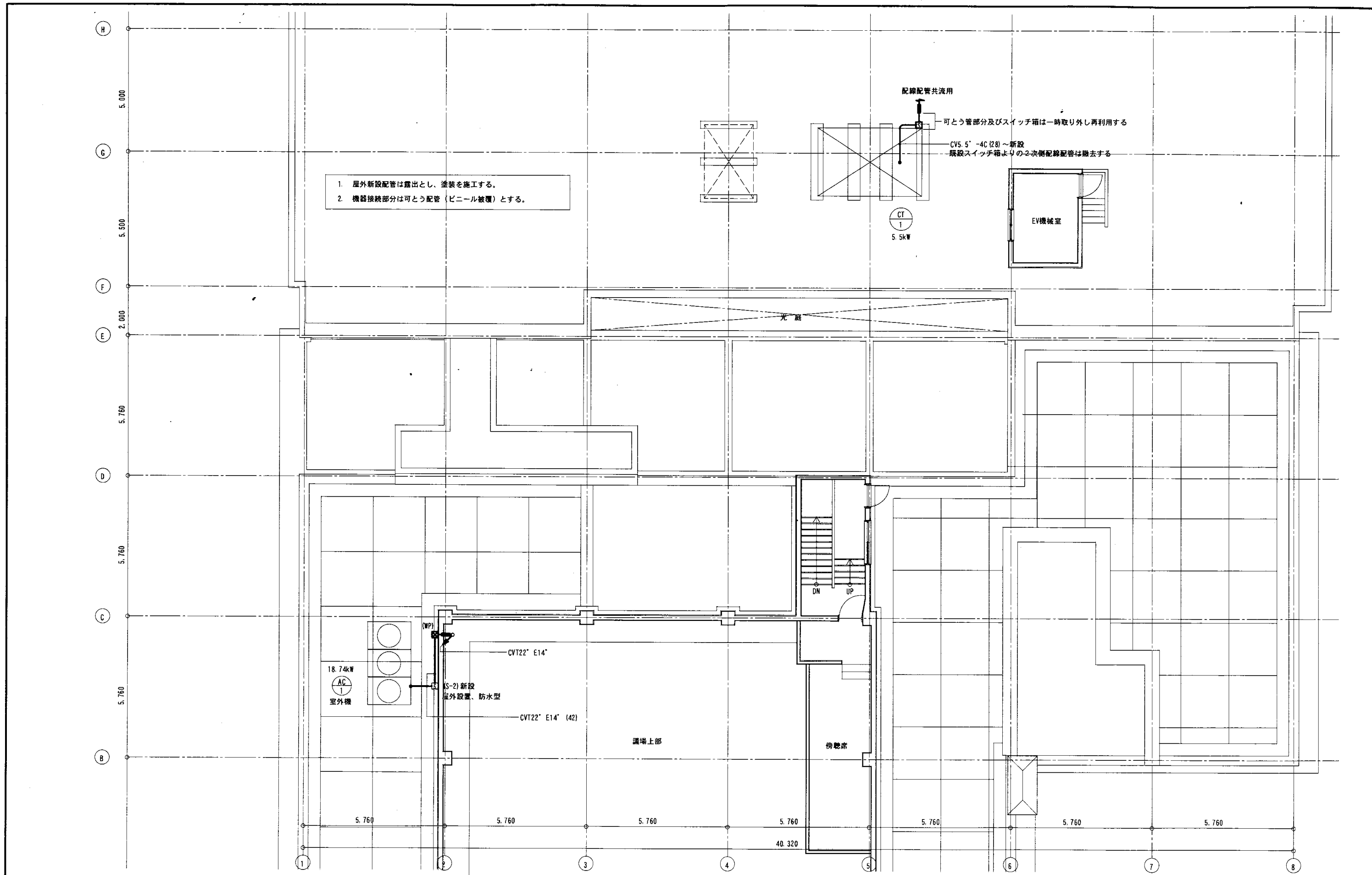
[注記]

「JISマーク等」と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外表面、容器の外表面または、JIS規格証明書の添付できるものをいう。結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるもの。
評価事業名簿とは、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業・設備機材等評価名簿」をいう。
但し、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。

Footer table with columns: 改訂日, 改訂記号, 改訂内容, 印, 設計・監理 (マツダ設計), 管理建築士 (松田 恭一), 承認, 設計, 製図, 本庁舎内空調機・熱源機更新工事, 2013年9月, No. E-1, 電気設備工事特記仕様書



改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認	設計	製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. E-2
				<b>マツダ設計</b>	一級建築士 大谷登輝 264609 松田 恭一			図面名 電気設備 (改修)・(撤去) 3階平面図	1/100 縮尺	



1. 屋外新設配管は露出とし、塗装を施工する。
2. 機器接続部分は可とう配管（ビニール被覆）とする。

配線配管共用  
 可とう管部分及びスイッチ箱は一時取り外し再利用する  
 CV5.5' -4C (28) ~新設  
 既設スイッチ箱よりの二次側配線配管は撤去する

18.74kW  
 AC  
 1  
 室外機  
 (WP)  
 (S-2) 新設  
 屋外設置、防水型  
 CVT22' E14'  
 CVT22' E14' (42)

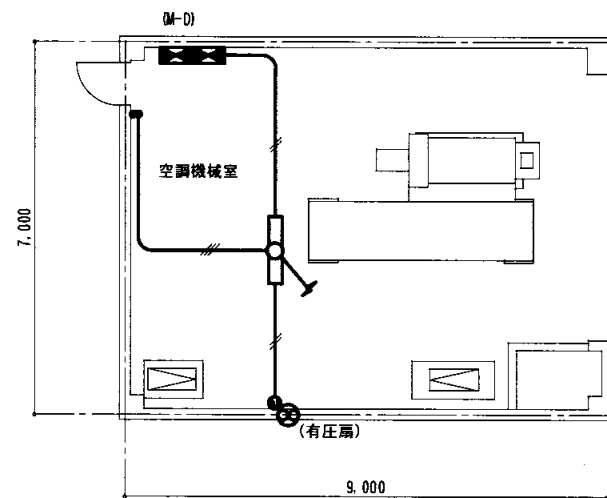
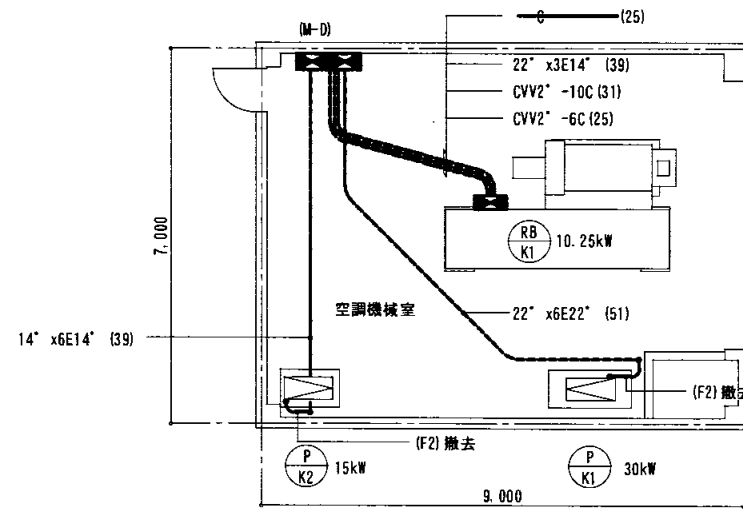
講場上部  
 傍聴席

EV機械室

CT  
 1  
 5.5kW

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568	管理建築士 承認 設計 製図	本庁舎内空調機・熱源機更新工事	2013 年月日	No. E-3
				<b>マツダ設計</b>	一級建築士 大臣登録 264502 松田 恭一			
				514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590				

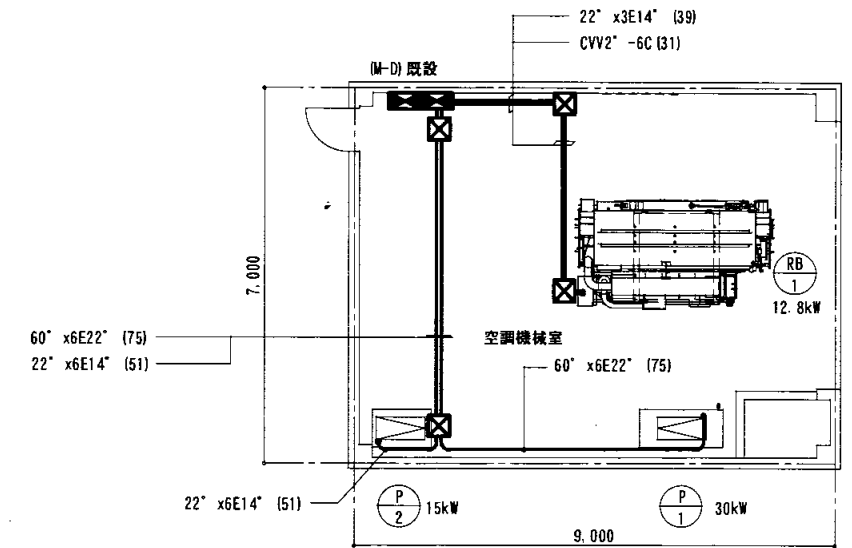
既設



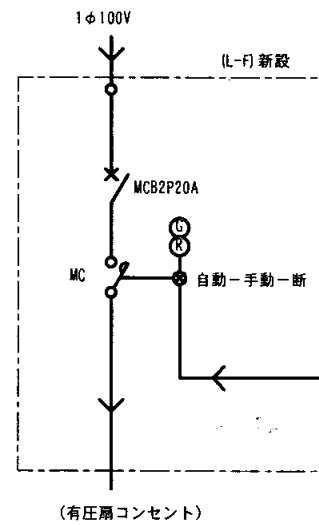
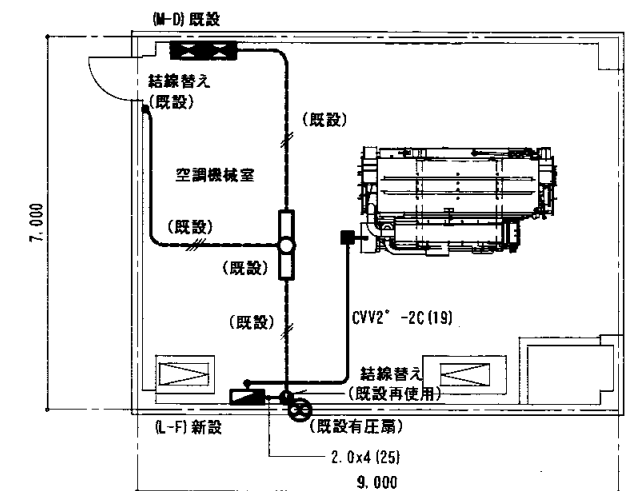
撤去工事要領

1. 図示の機械室内既設動力配線は引き抜き撤去、電灯配線は流用する。
2. 図示の埋設配管は現状維持とする。
3. 図示の露出配管は撤去する、PB-K1制御盤立ち上がり配管はカットし土間上で処理。
4. 有圧扇スイッチは取り外しボックス内で結線替え。

改修後



1. 機械室内新設配管は露出とし、塗装を施工する。
2. ポンプ接続部分は可とう配管（ビニール被覆）とする。
2. 既設制御盤（M-D）内配線改修も本工事とする。
4. 有圧扇コンセントは露出ボックス取付、配線接続替え。
5. 有圧扇スイッチは取り外しボックス内で結線替え。



(冷水水機制御盤よりインターロック)

改訂日	改訂記号	改訂内容	印

設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-1568

マツダ設計

514-0064 三重県津市長岡町800-90  
TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590

管理建築士	承認	設計	製図
一級建築士 大臣登録 26460 松田 恭一			

本庁舎内空調機・熱源機更新工事

図面名 電気設備 (改修)・(撤去)  
機械棟 平面図

2013

年月日

1/100

縮尺

No.

E-4